



# 奥床しさを纏った家

まと

庭園をより引き立たせる半戸外の回廊  
視線を遮り、その先の空間の広がりを感じさせる開口  
格子の向こう側に感じる気配  
想いの一部を隠すことで、奥行きを演出する「和心」  
そこには凛とした佇まいの日常がある。

設計/アーネスト・エテックス株式会社  
撮影/有川 幸雄



## 庭園と建築の調和

既存の庭は数寄屋に合う純和風。庭をより引き立たせる半戸外の回廊、あえて視線を制限し奥行きのある広がりを感じさせる開口。それらは古来から日本の住宅に用いられてきた手法であり、人工的な室内と自然の庭をつなぐ、曖昧で緩やかな空間をもたらす。建物に用いられた素材、配色、照明は和の持つ「凛」とした雰囲気を感じさせる。

右頁/廊下に面する開口をあえて低い位置で連続させることで、より窓の外を大きく感じることが出来ます。視界のコントロールが空間に広がり、余韻という楽しみを与えています。浮遊する壁の緊張感と白玉砂利の反射光による幻想的な空間となりました。

上/2つの庭との一体感を意識したダイニング。右手庭園と左手中庭への開口を全面ガラスとし、透明感のある空間となりました。廊下の開口の制限によって、ダイニングと中庭の繋がりが強調されました。

下/ポーチの底は大きく跳ね出させ、水平性を強調しました。和の要素として門扉に採り入れた木製格子と、隣り合うシャッターも色を統一し、シンプルに構成された外観が「簡潔な美」となりました。



周囲に大きな建物のない閑静な住宅街。築25年以上の既存建物は凝った造りの和風建築。老朽化と使い勝手を求めて新築を計画されたお施主様のご要望は、既存建物の庭園やアプローチ部に行む立派なモジを活かす「和モダンの家」でした。

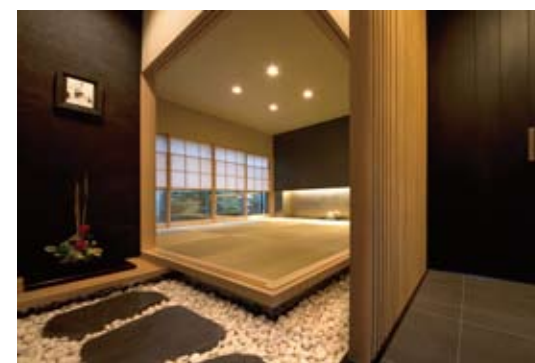
1階はリビング、ダイニング、和室。それぞれの空間は中庭を中心に連続してつながります。

2階へ続く階段室はゾーンの境界を示唆する黒い羽目板で演出。フオーマルスペースからプライベートスペースへ、空間の変化を明確に感じられます。2階は寝室、書斎、バスルームなど、各部屋が家族の気配を感じられるように配置されています。

それぞれの空間が機能的に配置されると同時に、和の空気が漂う。大胆な空間構成と丁寧なディテールの追究によって、自ずと和のテイストが醸し出されました。

## 左官の陰影が

しっとりとした表情を生む



上/ゲストルームを兼ねた和室は廊下とは格子で区切り、床レベルを変えることで、日常とは切り離れた空間を演出しました。

下/2階パウダールーム。独立した空間として贅沢な落ち着きを感じさせます。

左/1階リビング。吹抜けで高さを十分に確保しながら、窓の高さはあえて低くし視界を制限することでダイニングとの連続を演出しました。間接照明と自然光が大きな白い壁面にあたり、複雑な陰影をつくり出します。





■DATA  
敷地面積 / 484.00㎡  
延床面積 / 399.58㎡  
1階 / 249.22㎡  
2階 / 150.36㎡  
用途地域 / 第一種中高層住居専用  
構造 / RC造 + 木造  
工事期間 / 2009年7月～2010年4月  
施工 / アーネストホーム株式会社

■STAFF  
設計 / 廣田靖、佐藤恵一  
インテリアコーディネーター / 山本祐子  
構造設計 / 湯浅義明、高本泰伸  
CGパース / 露口美紀  
スーパーバイザー / 河野慶志郎

**Earnest architects**  
設計 / アーネストアーキテクト株式会社

お問い合わせ・資料請求  
〒108-0014 東京都港区芝 5-5-1  
TEL:03-3769-3333  
<http://earnest-arch.jp>

駒沢空間ショールーム  
〒158-0081 東京都世田谷区深沢 4-6  
駒沢公園ハウジングギャラリー ステージ2  
TEL:03-5707-5656

アーネストアーキテクト WEB サイトでは様々な作品事例をご覧頂けます。  
アーネストアーキテクト で検索、アクセスをお待ちしております。

上 / 緩いスロープとなったアプローチの先には視線を受け止める竹庭を設け、奥行のある空間に「留」をつくりました。木目の天井板と随所に施した木製格子、柔らかい左官仕上げの質感とが相まって、シンプルでありながら和の表情を感じられる空間です。左手坪庭には既存のモミジを利用し、壁に映り込む繊細な影が時を知らせるシンボルとなりました。  
下 / シンプルなシャープさを感じる外観と純和風の庭園。共通するのは余分なものをなくし個性を残すということ。夜のライトアップが美しい眺めとなりました。  
左 / ご主人様の2階書斎は壁に窓を設けずトップライトのみの採光としました。部屋自体も一段レベルを下げ、「籠りの部屋」を演出しました。  
左下 / 玄関エントランス。腰高までの打放しコンクリートの壁が空間に安定感を与えました。

